

数学

<全体分析>

試験時間	80分	解答問題数	6題
------	-----	-------	----

解答形式

[1]、[2]、[3] はマーク式 [4]、[5]、[6] は記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

典型的な問題が出題の中心である

昨年との変更点では [1] で単元が異なる独立した小問が2題出題された

その他トピックス

特に無し

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1] (1) (2)	図形と計量 整数の性質	数学I 数学A	正弦定理・余弦定理・三角形の面積・内接円の半径 2次の不定方程式	やや易 標準
[2]	数列	数学B	和と一般項の関係・漸化式	標準
[3]	確率 データの分析	数学A 数学I	条件つき確率 分散	やや難
[4]	対数関数 微分法	数学II	対数関数の最大・最小、対数不等式	標準
[5]	空間ベクトル	数学B	ベクトルの垂直条件 平面と直線の交点、体積	やや難
[6]	微分法・積分法	数学II	3次関数のグラフ 絶対値記号を含む関数の積分、面積	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

標準的な問題が出題の中心である。例年「数列、確率、指数・対数関数、空間座標、微分法・積分法」は出題されている。これらの分野を重点的に教科書や過去問等で学習することが望ましい。

なお、英数のマーク式の部分が一定の点数に達しないと、[4]～[6]の記述部分は採点されないので注意が必要である。